



平成 28 年 2 月 29 日

各 位

会社名 三浦印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 日達 浩造
(コード番号 7920 東証第二部)
問合せ先 取締役人事部長兼経理部、総務部担当
須川 直輔
(TEL 03-3632-1111)

業績予想の修正および配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 12 日に公表した業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,800	百万円 300	百万円 280	百万円 230	円 銭 7.18
今回修正予想 (B)	11,800	490	490	380	11.87
増減額 (B-A)	△1,000	190	210	150	—
増減率 (%)	△7.8	63.3	75.0	65.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	13,057	157	142	△62	△1.96

※第 1 四半期連結会計期間より会計方針の変更を行っているため、前期実績は遡及処理後の数値を用いて算出しております。

(2) 修正の理由

当連結会計年度におきましては、中期経営計画「みんなの中計」の最終年度として、印刷事業では、販促活動のクロスチャネル化を手間なく実現するソリューション提案等を推進するとともに、製版部門の本社集約や船橋工場との連携強化等により、製販一体となった受注・生産体制の構築に努め、受注強化と収益拡大に取り組んでまいりました。また、本日開示いたしました「退職給付制度の改定および特別損失の計上に関するお知らせ」および「構造改革に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、退職給付制度終了損約 200 百万円と特別退職金約 47 百万円を、特別損失に計上する予定であります。

こうしたこれまでの事業成果、および特別損失の計上などを業績見通しに反映させた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を大きく上回る見込みとなりましたので、上記のように業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年5月12日発表)		未定	未定
今回修正予想		4円00銭	4円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成27年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 修正の理由

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

こうした配当方針のもと、足許の業績動向を踏まえつつ、株主の皆さまへの利益還元を検討した結果、平成28年3月期の期末配当予想につきまして、1株あたり4.00円に修正（復配）することといたしました。

以 上